
名探偵コナン 新たなる事件の始まり

S2機関

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名探偵コナン 新たなる事件の始まり

【Nコード】

N1706Y

【作者名】

S2 機関

【あらすじ】

名探偵コナンの二次作です 今回は新たにオリキャラをサブレギュラーに加えさらに社会現象を引き起こしたアニメ新世紀エヴァンゲリオンのカラクターが一部登場します ぜひご覧ください 更新は不定期とします

オリキャラ プロフィール

オリキャラ紹介

磯貝未歩（16）

出身 北海道根室市

学歴 休学

未歩は北海道では有名な名探偵だ

北の未歩 東の工藤 西の服部と比べられるほど 作中では祖父に会うついでに毛利探偵事務所をおどずれる

磯貝里奈（27）

出身 北海道根室市 （現 アメリカニューヨーク州）

職業 公務員 （FBI）

愛車 日産G・TR R35

元々は警視庁の警視だったか FBIからスカウトされ彼女が26の時にFBIに転職

宮野翔子（15）

灰戸中学に通う学生で明美の2人目の妹でもある それ以外の詳細が全く不明

後藤ゲンドウ（59）

出身 東京都品川区

職業 国家公務員 （警察庁）

その他 新世紀エヴァンゲリオンより名前のみ引用
警察庁では警察庁長官をしている

裏では黒ずくめの組織と何かの取引している

冬月コウゾウ（65）

出身 北海道根室市

職業 国家公務員（警察庁）

その他 新世紀エヴァンゲリオンより

警察庁では官房室長をしている

ゲンドウのよき理解者で元公安部長

中島リン（30）

出身 沖縄県那覇市

職業 国家公務員（警察庁）

その他（同サイトの）新世紀エヴァンゲリオン 平行世界から来た少女より

警視庁では刑事部捜査一課強行3係で警部をしている 父親が警視副総監

第1話

下校途中の蘭と園子と少年探偵団

園子「一昨日またあの女子高生探偵が事件を解決したってよ」

蘭「へ」

コナン「なんだまだそいつか」

哀「同じ探偵なのに他の探偵には興味ないのね」

コナン「バーロ シャーロックホームズが解決したのならともかく普通の高校生が解決した事件には興味なんかねえよ」

光彦「でも普通の高校生じゃないみたいですよその人」

コナン「！」

光彦「先日テレビでやってだんですけどその探偵の姉はFBIの捜査官みたいですよ」

コナン「それほんとうか？」

光彦「はい」

蘭「コナン君そろそろ行こうか？」

コナン「じゃあね」

元太「また来週なコナン！」

第1話（後書き）

どうでしたか？ 台本形式になってしまいましたか気にしないでください

第2話（前書き）

いよいよ北の名探偵登場！！

第2話

探偵事務所の入り口
若い女性の声がある

未歩「さあ工藤新一を出しなさい！」

コナン「オレ？」

蘭「ただいま」

小五郎「おかえりー」

未歩「話をそらさない！」

コナン「もしかしてお姉さん新一兄ちゃんと知り合い？」

未歩「とかいちゃってほんとはあなたが工藤新一なんですよ江戸川

コナン君？」

蘭「そんなこと あるわけないよねコナン君？」

コナン「僕が新一兄ちゃんなわけないじゃん！」

（ほんとオレが新一なんだけどな）」

未歩「証拠もあるわよ」

コナン「どういう証拠？」

未歩「それはね〜」

つづく

第2話（後書き）

北の名探偵 磯貝未歩に正体を見破れそうになるオレ（コナン）彼女が持ってきた証拠とはそしてオレの運命は！？

作者より一言 また台本形式になっちゃいました 僕は小説を書く才能がないのでしょうか… それはおいといで次回もぜひご覧ください

第3話（前書き）

意外な展開に（作者が思うには…）

第3話

コナン「どういう証拠？」

未歩「それはね〜」

ノック音

依頼者「さつきから何度もノックしていると思っているの！」

蘭「すいません」

小五郎「どちらさまで？」

依頼者「私の名は吉岡智子」

小五郎「で依頼内容は？」

智子「依頼は私の夫の吉岡秀一です」

未歩「秀一と言えば国家公安委員長の」

智子「あら未歩さん」

未歩「ご無沙汰しております」

コナン「この人と知り合い？」

未歩「吉岡さんのホームパーティーで会っただけよ」

コナン「へえ〜」

智子「これから千葉県木更津市のホテル 三日月で会合があるので
すが…」

小五郎「行きましょう」

智子「ありがとうございます」

第3話（後書き）

作者より一言　なんか外交官殺人事件みたいな展開になっちゃいましたか…

つちつまがあわなくても気にしないでください

ホテル三日月は千葉県木更津市に実在するホテルです温泉やプールも管理されており　作者も過去に宿泊しに行きましたかとてもよく少し高額でしたか満足でした　一度行つて見ては？

一言が長くなつてしまいました

第4話

千葉県木更津市 ホテル三日月

P M 6 : 0 0

支配人「これは吉岡様」

智子「お久しぶりでございます」

支配人「秀一様でしたら今入浴中で

ございます」

智子「部屋でまたせてもらうわ 毛利さん行きましょう」

小五郎「はい」

支配人のケータイの着信音

職員「支配人！秀一様が！」

コナン「どうしたの！」

支配人「死んでる？」

小 蘭 コ 智 未「！」

職員「すぐ来てください」

支配人「わかった」

智子「どうしたの？」

支配人「秀一様が…」

入浴場

智子「あなた！」

コナン「すぐ警察をよぼう！」

未歩「ええ」

P M 6 : 5 1

千葉県警刑事部捜査一係が現場に到着

捜査員

新藤杏奈警部（37）

鈴木学巡査（24）

森田茂巡査部長（30）

中島リン警部（29）

（この時点ではまだ千葉県警）

江戸川真平巡査（25）

（彼もAPTX4869の被害者で本当の年齢で17の時に薬を飲まされ組織に復習をしようと考えている）

杏奈「遺体の状況から見て死後数十分つてところかしら？」

真平「所持品から写真が出てきました」リン「ホームパーティーの写真のようね」

コナン「ぼくにも見せて！」

と奪い取るコナン

茂「こらっばうや！」

リン「この子は問題ないわ」

杏奈「どういう事よ」

リン「ジェームズ？ブラックさん知ってる？」

杏奈「確かFBIのリーダーでしょ」

リン「その人が信用してるのが彼よ」

杏奈「そうなの！？」

リン「里奈から聞いた情報だから間違いないわ」

杏奈「大部寄り道したわね事件に戻りましょ」

捜査員「了解」

第4話（後書き）

作者より一言 警察の方を中心に出してみました

第5話（前書き）

推理や事件難しい…

第5話

PM 8:00

小五郎の首に麻酔銃の針が刺さった
プシュ

小五郎「ホエ」

杏奈「まさか！」

茂「眠りの小五郎って奴か？」

小五郎「事件もラストスパートその前に私の
推理を聞いてください」

杏奈「いいでしょう」

小五郎「まず智子さん」

智子「はい」

小五郎「あなたはご主人が亡くなった
のに涙一つも出していませんでした何故ですか？」

智子「外では何があってもなかなかいつて決めているからよ」

小五郎「普通は誰でもこういう場合なくのが当たり前ですよ」

智子「なかには泣きたくても泣けない

人だっていると思うのですか……」

小五郎「あなたは探偵事務所に

来る前どこにいましたか？」

智子「自宅にいたわ だからアリバイにはならない」

未歩「でもアリバイ証人なるがわからないけど私智子さんに
電話を入れてるんです」

リン「そうなの？」

杏奈「どういう要件で？」

未歩「今度開かれるホームパーティー
の事で」

小五郎「自宅の電話にかけたのですか」
未歩「智子さんとはいつも携帯で連絡
してるので」

小五郎「これで犯人がわかりました」

小五郎「犯人は吉岡智子さんあなただ！」

つづく

第5話（後書き）

作者より一言 意味不明な推理ショーですか 気にしないで読んでください

ショートコント1

小五郎「本当に意味不明！」
未歩「小説家として失格ね」
作者「そこまで言わないで」

第6話（前書き）

意味不明な推理ショーがしばらく続きます

第6話

小五郎「犯人は吉岡智子さんあなただ！」

智子「なんで私が秀一を殺すの！」

小五郎「ご主人からDVをあなたは受けていたちかいますか？」

杏奈「政治家がDV？」

真平「もしそれが本当だとするとスキャンダルになりますね」

小五郎「その首の傷」

リン「拝見します」

未歩「何故秀一さんを殺したの？」

智子「あの男裏で組織と取引していたのよ」

未歩「組織？」

智子「正体が全くわからないけどとにかく取引していたのよ」

未歩「その首の傷は？」

智子「夫よ私とその取引している事にきずいてナイフで首を切ったのよ」

杏奈「吉岡智子さんあなたを殺人容疑で緊急逮捕します　いいですね」

智子「はい」

第6話（後書き）

意味不明な推理ショーでした最後まで読んでくれた読者の方ありがとうございました

第1話（前書き）

このあと ジンとウオッカが登場何故奴らが木更津に！？

第1話

PM9:00

未歩「もしもし おじいちゃん 北海道へ帰れ？なんでよ わかった」

蘭「誰からだったの？」

未歩「おじいちゃん」

小五郎「なんだったんだ？」

未歩「今すぐ根室へ帰れ だつて」

コナン「なんで？」

未歩「わからない」

小五郎「今から行つたで札幌便なんかねえぞ」

未歩「大丈夫 おじいちゃんがへりを

手配したみたいだから」

小五郎「気をつけてな」

未歩「あなたにあえてよかった」

コナン（なんかいやな予感がする
何故だ）

蘭「どうしたのコナン君？」

コナン「なんでもないよ」

未歩「じゃ」

小五郎「俺達も戻るとするか」

といってコナン達は車に戻り家に帰るのであった

第1話（後書き）

やっぱり次の回になりそうです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1706y/>

名探偵コナン 新たなる事件の始まり

2011年11月4日04時12分発行